

解答

一
 問一 A a 張 b 測 c 手際
 問二 B イ C ア
 問三 頭イ
 問四 問五 問六 問七
 問八 問九

全員での情報の共有をし、何をすればいいのかわかるようにするという（やり方。）／
 係を割りふつてそれぞれの担当を決め、やることをはつきりさせておくという（やり方。）
 べつに好き／いんだけど

問一
 問二
 問三
 問四
 問五
 問六
 問七

イ
 イ
 イ
 ウ
 ウ
 ウ
 ウ

問一 A
 問二 工エ B ア
 問三 C イ
 問四 ことばで考えることを確實にすればいい
 問五 ウ
 問六 ウ
 問七 ウ
 問八 ウ
 問九 ウ

いい本を読み、そこに書かれていることばの意味を考え、理解すること。

二
 問一
 問二
 問三
 問四
 問五
 問六
 問七
 問八
 問九

工エ
 ウ
 ウ
 ウ
 ウ
 ウ
 ウ
 ウ
 ウ

相手のことばをよく聞き、理解することで表現能力をみがけばよい。

解説

一
 問五
 問七

——部②の後にある父さんとの会話に着目します。「でも、真っ先にやるべきは、」／「やることがはつきり決まっていたほうが、人は動く」の部分に二つのやり方が書き表されているので、設問の指示に従つてわかりやすくまとめます。

問七
 紹密とは、細かいところまで注意が行き届いていて、手落ちがないという意味です。また本文中盤のぼくがパソコンで文字を打ちこむ場面に、工程表の出来栄えがすばらしく、この手順どおりにやれていたら最後までやり終えることができたかもしれない、と感心している様子が描かれているので、選択肢イが選べます。

二
 問四
 問九

「最近、脳の研究が」で始まる段落に、脳を鍛える方法が述べられています。「いい本との出合いが」で始まる一文の内容をわかりやすくまとめます。
 本文の中盤で、どういう脳をつくるかは各人の努力しだいであり、いわば「自己責任」であるが、ある程度の年齢に達するまでは大人の責任であると述べているので、選択肢アは合いません。本文の終わりに「自己的な思考をする人は、概して感情表現が豊かでない。」という一文があり選択肢イも合いません。第一段落の内容から選択肢ウは筆者の主張と合います。本文の中盤の「人間の子どもが、人間の社会から隔離され育つと、まったくことばを話さなくなってしまうという。」という一文から、選択肢エも合わないことがわかります。